

TSUCHIURA DIVERSITY&INCLUSION

特集

誰もが活躍できる社会を目指して…

土浦市に 人権推進課 ダイバーシティ推進室 が誕生しました！



令和5年4月より、本市においてダイバーシティ社会を実現するため、「人権推進課ダイバーシティ推進室」を設立しました。年齢や性別、国籍、障がいの有無、性的指向・性自認等どのような立場の人も、それぞれが持つ個性と強みを十分に発揮し、すべての市民が互いに人権を尊重し合い、自分らしく生き生きと暮らせる市を目指します。

▶CONTENTS

特集 Special Feature

土浦市に人権推進課ダイバーシティ推進室が誕生しました！	…1
土浦市のダイバーシティ社会実現のための取り組み	…2
・「いばらきダイバーシティ宣言」に登録しました！	
・「土浦市ダイバーシティキックオフセレモニー」を開催しました！	
・コラム：「ダイバーシティ推進について」	

事業報告 Topics

令和5年度「男女共同参画×市民協働フェスティバル」	…4
令和5年度主な事業の報告	…6

お知らせ News & Information

男女共同参画センターのお知らせ	…8
-----------------	----



※ダイバーシティ (Diversity) とは…

日本語に直訳すると「多様性」という言葉になります。

「受容・包摂」という意味であるインクルージョン (Inclusion) と合わせて、「ダイバーシティ&インクルージョン」＝「人の多様性 (ダイバーシティ) を認め、受け入れること (インクルージョン)」という表現をされることが多いです。

特集

Special Feature

土浦市のダイバーシティ社会実現のための取り組み

土浦市では、人権推進課ダイバーシティ推進室が誕生してから様々な事業を行っています。

ここでは、その事業の一部と、『「ダイバーシティ」とはいうけれど、具体的にどういったもののなの?』ということについて、つくば国際大学 横山 博子 教授にコラムを執筆していただきました。

「いばらきダイバーシティ宣言」とは?

茨城県では、性別等に関わりなく、一人ひとりが尊重され、だれもが個々の能力を発揮できる社会、多様性が受容されるダイバーシティ社会の実現に取り組むため、県内の経済団体、業界団体等とともに令和3年7月に「いばらきダイバーシティ宣言」を発表し、この趣旨に賛同し、宣言を行う企業・事業所・団体等を募集しています。

この度、本市においても、ダイバーシティ社会の実現に向けたさまざまな取り組みを進めるにあたって、その取り組むべき方針を定め、「いばらきダイバーシティ宣言」に登録いたしました。

本宣言をはずみとして、本市のダイバーシティ社会実現のための取組を推進してまいります。

全文は市公式ホームページをご覧ください



「いばらきダイバーシティ宣言」に登録しました!

「土浦市ダイバーシティキックオフセレモニー」を開催しました!

(令和5年9月10日)

土浦市では、人権尊重と平和の大切さについて学ぶことができる機会として、人権と平和のつどいを開催しています。

令和5年度は「人権と平和のつどい」の第2部において、本市が令和5年7月に「いばらきダイバーシティ宣言」に登録したことを記念し、「土浦市ダイバーシティキックオフセレモニー」を開催いたしました!

セレモニー内容

- (1) 「いばらきダイバーシティ宣言」市内登録事業者による事例発表
水郷つくば農業協同組合／株式会社常陽銀行
- (2) 土浦市「いばらきダイバーシティ宣言」宣言文唱和
- (3) 記念講演(人権講演会)

講師 KABA. ちゃん(タレント/振付師)

※MC: 海野 里呼子さん

演題 「これが私。自分らしく生きるために

～知ってほしい、LGBTQのこと～

▼ 宣言文唱和の様子



▼ 記念講演(人権講演会)の様子





ダイバーシティ推進について

令和5年度、機構改革により、「人権推進課ダイバーシティ推進室」が誕生しました。

しかしながら、「ダイバーシティ」について、言葉は知っていても、内容までは知らないという方も多いかもしれません。

ここでは、ダイバーシティに関して、本市の男女共同参画推進委員会委員長でもあるつくば国際大学 横山 博子 教授に解説していただきました。



執筆者：つくば国際大学 横山 博子 教授

執筆者プロフィール

奈良女子大学大学院修士課程修了後、同大助手、東京都老人総合研究所（現・東京都健康長寿医療センター研究所）助手を経て、1994年よりつくば国際大学講師。現在、教授、図書館長。専門は、家族社会学、ジェンダー論、社会老年学 等。

1. ダイバーシティ推進とは？

2023年4月、土浦市男女共同参画室はダイバーシティ推進室に変わりました。

ダイバーシティ推進の説明を土浦市ホームページから引用いたしますと、「年齢や性別、国籍、障がいの有無、性的指向・性自認等のような人も、それぞれが持つ個性と強みを十分に発揮し、すべての市民が互いに人権を尊重し合い、自分らしくいきいきと暮らせる社会を目指すこと」となっております。

簡単にいうと、人の多様性（ダイバーシティDiversity）を認め、包摂（社会の中に取り込むInclusion）したダイバーシティ社会（D&I）を作っていきたいというものです。

実は、一足先の2021年7月、県は「いばらきダイバーシティ宣言」（以下、「宣言」）を出し、①県民の「ダイバーシティ」理解の促進 ②「宣言」に賛同する県内の企業や団体等の募集という方法で、実現の一步を踏み出しました。土浦市は2023年7月に「宣言」の登録をしています。

2. そもそもダイバーシティとは

ダイバーシティは英語で多様性を意味するdiversityからきており、1960年代米国の人種差別撤廃運動のなかで、社会の人種の多様性を指す言葉として使われるようになりました。ほぼ同時期に女性解放運動も活発化し、多様性の意味には性別が、続いて、障がい、性的指向・性自認などが加わり、また、包摂（社会の中に取り込む）の方法も、「公平に扱う」ことから始まり、「違いを活かす」、「価値創造」等、様々な知恵と工夫が積み重ねられてきました。この約60年の歴史の中で、ダイバーシティの定義や内容は変化し続けていますが、ダイバーシティ（diversity）は、通常、公平（equity）、包摂（inclusion）と合わせて、DE&Iと略称され、社会の理念的な柱の一つとなっています。

一方、日本においては、2000年に日経連（現経団連）が、「ダイバーシティ・ワーク・ルール研究会」を発足させ、初めてダイバーシティ経営という視点が登場しました。その後、政策的にも、少子高齢化による労働力人口の減少、そして企業業績の停滞や人手不足への対応としてダイバーシティ経営は重要であるとし、経済産業省では積極的に後押しするようになりました。また、このような流れの中で、2015年の女性活躍促進法の成立と軌を一にして、大企業や大学等では「男女共同参画」から「ダイバーシティ推進」へと看板が変えられています。

3. ダイバーシティ推進の中での「男女共同参画」の意義

この度の「ダイバーシティ推進室」への変更は、決して「男女共同参画」への歩みを緩めるものではありません。1985年の男女雇用機会均等法の制定以降、女性の雇用や両立支援に関する法制度の整備は積極的に進められてきましたが、なかなか実態としては変わっていません。世界経済フォーラムのジェンダー・ギャップ指数（2023）は146か国中125位、SDGsの課題「ジェンダー平等を実現しよう」達成度（2023）評価は4段階評価の最低の「1」であることでも明らかです。

しかし、ダイバーシティの視点が入ることで、これまで頑として動かなかった組織の理念・体制や経営層の意識の変革が進められ、あらゆる組織とそこに所属するすべての人の課題として取り組まれるという、新たな地平が開かれるのではないかと期待しています。ただし、女性の形式的参画をもって企業評価にされないよう、そして新たな差別を生みだすことのないように、注意を払っていくことを忘れてはならないでしょう。

(多様性)

(包容・受容)

ダイバーシティ&インクルージョンのまち土浦
～みんな違って、みんないい～

Topics

事業報告：

令和5年度「男女共同参画×市民協働フェスティバル」

土浦市では「ダイバーシティ・男女共同参画社会の実現」と「『協働』によるまちづくり」を目指し、さまざまな取り組みが行われています。ジェンダーによる垣根、世代間の垣根を乗り越えて、皆が活躍できる社会を作り上げていくために、私たち一人ひとりができること、心がけていきたいことを、ダイバーシティと協働の視点から考えます。

今年度は男女共同参画センターも開放し、多くの方が楽しむことができる催しを開催いたしました。以下、内容について掲載します。

フェスティバルの内容

第1部

令和6年1月27日(土) 9:30～12:30
茨城県県南生涯学習センター

◆ポスターセッション(パネル展)

◆基調講演

「令和時代の地域をデザインする
～キーワードは男女共同参画～」

講師：国立女性教育会館 理事長 萩原 なつ子 氏

◆パネルトーク

・ファシリテーター：萩原 なつ子 氏

・パネラー：西並木町町内会

NPO法人 まちづくり活性化土浦

土浦市消防団女性消防部

第2部

令和6年1月27日(土) 12:00～15:00

土浦市男女共同参画センター

Gasta東部ガス LIFE STUDIO

◆啓発コーナー

◆リコチャレコーナー

◆無料フードコーナー

◆ふれあいコーナー

※協力：東部ガス株式会社、つくば国際大学高等学校・
土浦工業高等学校の生徒の皆さん

フェスティバルの様子

ご協力いただきました高校生ボランティアの皆様、
ふれあいコーナー講師の皆様、東部ガス株式会社 様、
土浦市女性団体連絡協議会 様、並びにご来場いた
だきました皆様、この場をお借りしまして感謝申し上
げます。

当日は、たくさんの方にご来場いただきました。
ここでは、特に第2部の様子を掲載しております。

啓発コーナー(研修室1・2)
ふれあいコーナー(市民ラウンジ)
の様子



土浦工業高等学校生徒の皆さんによる
リコチャレコーナー(研修室3)

つくば国際大学高等学校ボランティアの皆さん
(無料フードコーナー、着ぐるみとチラシ配り等)



講演会

令和時代の地域をデザインする ～キーワードは男女共同参画&ダイバーシティ～

講師紹介



講師：国立女性教育会館
理事長 萩原 なつ子 氏

講師プロフィール
(財) トヨタ財団アソシエイト・プログラム・オフィサー、武蔵工業大学環境情報学部助教授等、立教大学社会学部教授・立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科教授を経て、令和4年度より独立行政法人国立女性教育会館理事長に就任。
環境社会学、ジェンダー、非営利活動等が専門。男女共同参画、ワークライフバランス、地域づくり、防災などテーマは多岐にわたる。
様々な自治体において、男女共同参画の推進やまちづくりの振興に係る事業を積極的に行っている。

基調講演

今回のフェスティバルでは、男女共同参画社会の形成を目指した、日本で唯一の女性教育のナショナルセンターである国立女性教育会館の萩原なつ子理事長を講師にお招きし、ご講演いただきました。その中で、これからの地域づくりで大切なことを、6つのテーマでお話をいただき、今回はそのうちのいくつかをご紹介します。

【持続可能でリスクに強い、誰一人取り残さない地域の実現のために】

社会課題が多様化し、公共サービスに対するニーズも多様化しています。こうした中で、多様な主体が参加・参画して、地域課題に自発的に取り組むことが大切です。自治会等、地縁組織や、民生委員、社会福祉協議会、NPO、企業、学校、行政が連携・協働し、すべての人に居場所と出番のある共助社会を実現することが必要です。

【男女共同参画を進めるために必要なプロセス】

まずは、ジェンダーギャップがあることを理解することが重要です。男女の格差をはかるジェンダーギャップ指数は、令和5年日本は世界で125位と低い数値となっています。その要因として、日本は特に女性の政治参画が進んでいないことが挙げられており、政治だけでなく町内会・自治会といった、ごく身近な物事を決定するところに女性が参画することが非常に重要となります。

【持続可能な自治会活動に向けた男女共同参画の推進】

多様化している地域課題を解決し、誰もが暮らしやすいまちをつくるためには、多様な視点をもった、多様な人材を確保することが必要となります。このことから、住民の半数を占める女性がより積極的に地域活動に参画していく意義はとて大きいと考えられます。

【多様な女性の経験に基づいた視点をまちづくりへ】

2014年に消滅可能性都市に指定された東京都豊島区では、住みたくあるまちにするために、豊島区の女性100人を集めて会議を行いました。そこでは、多様な経験に基づいた女性の視点で、まちを見つめ直すことで、ユニバーサルなまちづくりにつながり、「みんながわたらしく暮らせるまち」「いろんなところから参加・参画しやすい、何かを言いやすい、手をつなぎやすいまち」に生まれ変わりました。



▶まとめ

地域同士でゆるやかにつながり、人々の多様な経験に基づく視点が活かされることで、誰もが暮らしやすいユニバーサルなまちになっていくのではないかと考えます。

パネルトーク

講師の萩原さん進行のもと、西並木町町内会、NPO法人まちづくり活性化土浦、土浦市消防団女性消防部の3団体により活動の紹介や課題などを発表していただきました。次世代の担い手がいらないなど、それぞれの団体が抱える課題は共通する点もあり、まちづくりについて共に考える時間となりました。



令和5年度 主な事業の報告

令和5年度に実施した事業を一部抜粋して掲載しています。

Topics

事業報告：

No.	事業名	事業日等	備考等
1	父と子のクッキング講座	6/18 (日)	・参加者：14 組 (31 名) ・内容：キーマカレー＆ナン作り
2	ダイバーシティ幹部職員研修①②③	① 6/27 (火) ② 9/29 (金) ③ 2/2 (金)	今後ダイバーシティ社会実現のための取り組みを行っていくため、市管理職(特別職) へ向けた研修を実施しました。
3	「茨城県ダイバーシティ宣言」登録	7 月	本市において、ダイバーシティ社会の実現に向けたさまざまな取り組みを進めるあたって、その取り組むべき方針を定め、「いばらきダイバーシティ宣言」に登録をしました。
4	女性のためのデジタル人材育成セミナー「デジタル広報スキルアップ講座」①②③④⑤⑥	① 8/19 (土) ② 9/2 (土) ③ 9/16 (土) ④ 9/30 (土) ⑤ 10/21 (土) ⑥ 12/9 (土)	多様な働き方が実現しやすいデジタル分野への女性の就労拡大を目指し、まずその第一歩として、デジタル広報スキルを学ぶための講座を開催しました。 計 5 回のセミナーを通して無料デザインツール「Canva」を使用し、成果物を作成していただき、6 回目のセミナーでは発表会を実施しました。
5	土浦日本大学高等学校 出前講座	8/24 (木)	本学校で実施している「夏季教員研修会」にて、学校におけるジェンダー平等社会実現に向けて必要な取り組みについて、出前講座を実施しました。
6	土浦市ダイバーシティ キックオフセレモニー	9/10 (日)	人権と平和の第 2 部において、「いばらきダイバーシティ宣言」に登録したことを記念し、さらに市民や事業者に対して、ダイバーシティの理念を広く啓発するために開催しました。
7	女性のための創業セミナー①②③	① 10/11 ※セミナー ② 11/8 ③ 10/25 ※講演会	女性の更なる社会参画促進の一つとして、起業を支援するため、女性起業家によるセミナーや講演会を開催しています。 ・参加者：① 12 名、② 11 名、③ 11 名
8	つくば国際大学文化祭・つくば国際大学高等学校出張啓発	10/22 (日) 10/28 (土)	若年層に向けた男女共同参画・ダイバーシティの考えの啓発を行うため、それぞれの高校で出張啓発ブースを設け、啓発活動を行いました。
9	男性料理教室	10/29 (日)	・参加者：12 名 ・内容：ナシゴレン・サラダづくり
10	女性に対する暴力をなくす運動	11/12 ~ 25	本事業啓発のため、期間内ダブルリボンツリーの設置やパープルライトアップを実施しました。今年度は、土浦市女性団体連絡協議会と連携し、各地区公民館祭りにおける啓発活動や、本事業及び相談先の周知のため、啓発グッズの街頭配布も実施しました。
11	女性模擬議会	11/17 (金) ※事前勉強会：10/10 (火)	女性が市政の仕組み・議会活動などへの理解・関心を深め、政治分野における男女共同参画をより推進させることと、子育て世代の意見を聴く場を設けることを目的として開催しました。
12	男女共同参画×市民協働フェスティバル	1/27 (土)	※詳細は P.4 - 5 をご覧ください。

Feature!

女性起業家紹介

令和5年度女性のための創業支援セミナー講師
藤田 真紀 さん (マキのパン屋 代表)

土浦市生まれ。製パンスクール講師課程修了後、パン作りの技術をもとにベーグル作りを研究。2010年自宅にパン工房を設け保健所許可を取得。「マキのパン屋」として本格的に製造販売を始める。公民館やカルチャースクールなどでパン・ベーグル教室の講師としても活躍中。現在、高校生と中学生を子育て中の兼業主婦。



医療法人社団 希望会
鳥山診療所
医師 今高國夫 山口晶子
訪問介護ステーション マナ
訪問看護ステーション のぞみ
鳥山診療所居宅介護支援事業所
訪問リハビリテーション鳥山
土浦市鳥山2-530-386
☎029-843-0331

女性の活躍を応援します
ビルメンテナンス
高橋興業株式会社
土浦市大町12-1
TEL : 029-824-2211

吉田農園
YOSHIDA LOTUS FARM
当園では掘りたて蓮根と蓮の葉茶などを販売しています。お気軽にお越しください。
土浦市田村町1071
TEL.029-828-0549
<https://www.yoshida-emrenkon.jp>

女性に対する暴力をなくす運動

毎年、11月12日から11月25日は「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。配偶者等からの暴力や性犯罪、セクシャル・ハラスメント、ストーカー行為等女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するものであり、男女共同参画社会を形成する上で克服すべき重要な課題です。

本市においても、女性に対する暴力をなくす運動期間中に合わせ、暴力や虐待についての相談窓口等のリーフレットの配布や施設のパープルライトアップ、ダブルリボンツリーの設置、「女性に対する暴力をなくす運動」描きおろし漫画パネル展、市立図書館における関連コーナーの設置を行っています。

令和5年度は、つくば国際大学及びつくば国際大学高等学校の文化祭での啓発や、土浦市女性団体連絡協議会と連携し、各地区公民館まつりにおける啓発活動や、本運動及び相談窓口の周知のため、啓発品の街頭配布を実施しました。



▲ 啓発品街頭配布の様子

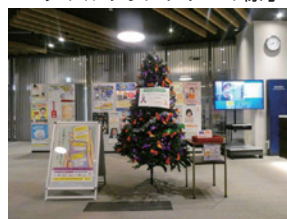


▲ 公民館まつり出張啓発の様子

▼ パープル・ライトアップの様子



▼ ダブルリボンツリーの様子



女性模擬議会

女性が市政の仕組み・議会活動などへの理解・関心を深め、政治分野における男女共同参画をより推進させることと、子育て世代の意見を聴く場を設けることを目的として開催しました。

本事業は平成13年に行って以来22年ぶりに開催され、今年8月に公募を行った結果、13名の模擬議員が集まりました。

模擬議会開催にあたっては、事前勉強会や女性市議会議員の皆様との意見交換会を行い、本事業の意義や今後、模擬議員の皆さんがリーダーとして活躍するための心構えなどを学び、模擬議会に臨みました。

模擬議会本番では、実際の議会形式に沿いながら議長役の1人が議事進行を行い、模擬議員12人が市長をはじめ市執行部に質問をしました。

市公式HP
(女性模擬議会)



土浦市女性のためのデジタル人材育成セミナー デジタル広報スキルアップ講座



多様な働き方が実現しやすいデジタル分野への女性の就労拡大を目指し、まずその第一歩として、デジタル広報スキルを学ぶための講座を開催しました。

計5回のセミナーを通して無料デザインツール「Canva」を使用し、成果物を作成していただき、6回目のセミナーでは発表会を実施しました。



市公式HP
(デジタル人材育成
セミナー成果物)

センターの開館日が変更となります

2024年4月1日より、土浦市男女共同参画センターの開館日が変更となります。

変更に伴い、ご利用の方にはご不便等をおかけすることになりますが、何卒ご理解ご了承くださいますようお願い申し上げます。

貸館業務は従来どおり行っております。詳しくは市公式HPをご覧ください。

変更前

月～土

8:30～17:15

※祝祭日・年末年始を除く

変更後

月～金

8:30～17:15

※祝祭日・年末年始を除く

貸館に関する
ことなど詳しくは
市公式 HP へ



女性のための各種相談

・フェミニスト相談 【事前予約性／対面相談／女性のみ】

ジェンダーの視点を持った専門の女性相談員が、生き方や家族に関することなど、様々な悩み事について相談に応じています。

実施日：毎週火曜日（11:00～15:40）

・一般相談 【事前予約性／対面相談／女性のみ】

女性を取り巻く一般的な悩み事について、女性相談員が相談に応じています。

実施日：毎月第2・第4金曜日（13:00～15:50）

連絡先：029-827-1107（直通）

・土浦市女性のための寄り添い支援事業 / 【女性のみ】

どんな小さな悩みにでもしっかり向き合い、問題解決を目指します。対面相談に加え、電話・メール・チャットなど非対面の相談や、自由に過ごすことができる居場所「コミュニティサロン YORISOI 土浦」の開設、関係支援機関への同行支援や、直接相談者のもとに出向く訪問支援なども行っています。詳しくは、市公式 HP をご覧ください。

電話相談：080-3402-8682

フェミニスト相談
一般相談相談



女性のための
寄り添い支援事業



土浦市では、様々な悩みや不安を抱える女性に対して、相談を実施しています。ひとりで悩まず、まずはご相談を。

土浦市女性の専門職資格取得等支援事業補助金

土浦市では、女性の就業及びキャリアアップを支援するため、出産や育児、介護のために離職した方、非正規雇用から正規雇用への転換のために、仕事や就労に役立つ資格や免許の取得に係る経費の一部を補助しています。

補助金の交付対象となる方

- ・学生ではない方
- ・最終学歴から卒業後5年を経過している方
- ・正規雇用ではない方
- ・過去に同補助金の交付を受けていない方
- ・市税を滞納していない方

その他細かい要件や、必要書類等もありますので、まずは人権推進課ダイバーシティ推進室ご相談を！



土浦市女性の
専門職資格取得等支援事業
補助金



土浦市男女共同参画センター

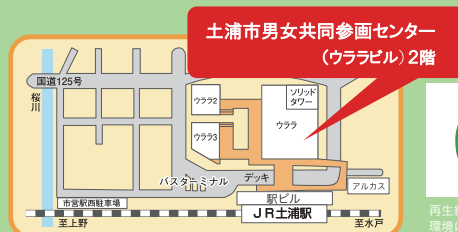
〒300-8686 土浦市大和町9-1 ウララビル2階（土浦市役所本庁舎内）

TEL：029-827-1107 FAX：029-827-1234

MAIL：diversity@city.tsuchiura.lg.jp

開館時間：午前8時30分～午後5時15分 休館日：土・日曜日・国民の祝日・年末年始

■編集・発行 土浦市市民生活部人権推進課 令和6年3月発行



再生紙を使用しています。
環境にやさしい植物油インキを使用しています。